

④【「開かれた学校づくり」と

「特色ある学校づくり」の推進】

子どもたちが未来に向かって夢や希望を抱き、その実現に向けて努力できるよう、家庭・学校・地域による協働と市民の教育への参画を進める。

そのために、「選べる学校制度」の趣旨を十分に踏まえ、各学校が自校のよさを発揮しながら「特色ある学校づくり」を推進するとともに、市民や保護者の視点に立った「開かれた学校づくり」を推進することによって、透明性の高い学校経営を進める。

（主な事業名）

- ・ 学校運営改善プログラムの作成（学）
- ◎ 平山小コミュニティースクール（学）
- ◎ 特色ある教育課程（カリキュラム）の研究・普及（セ）
 - ・ 学校説明会の実施（学）
 - ・ 長期学校公開の実施（学）
 - ・ 学校評価の実施・公開（学）
 - ・ 学校評議員制度の実施（学）
 - ・ 学校Webサイトの充実（室、学）
- ◎ 市政協力員（学校図書館）の配置（学）
 - ・ 明星大学・東京学芸大学学生インターンシップ事業（学）
 - ・ 学生ボランティアの派遣（学）
 - ・ 市政協力員（社会人講師）派遣制度（学）
 - ・ 介助員の派遣（学）
- ◎ 七生緑小増築・耐震補強・大規模改造工事（庶）
- ◎ 日野一中建て替え（平成19～20年度）（庶）
- ◎ 児童・生徒用机椅子整備事業（平成25年度まで）（庶）
- ◎ 校庭芝生化事業（東光寺小）（庶）
- ◎ 小学校水飲栓直結給水事業（平成19～20年度）（庶）
 - ・ 学校管理員の配置（小・中学校全校）（庶）
- ◎ 教育センターの研究・情報収集発信事業（セ）

- ・ 「セーフティ教室」(警察署と連携した防犯訓練)(学)
- ◎ 「日野市子ども安全サポートチーム」(学)
- ・ 「ひのっ子安全パトロール」(学)
- ・ 不審者情報のメール配信 (庶・学)
- ◎ スクールガードリーダーの導入とスクールガードボランティア事業の充実 (庶・学)
- ・ 防犯ブザーの配布 (学)

◎は評価対象事業

学・・・学校課 セ・・・教育センター 庶・・・庶務課
 室・・・ICT活用教育推進室

事業の名称	平山小コミュニティスクール		
基本方針	「開かれた学校づくり」と「特色ある学校づくり」の推進	事業経費	146千円
担当課	学校課		
事業の目的			
地域に根ざした学校づくりを目指して、保護者や地域住民が学校の基本方針づくりや教職員の採用などの学校経営に参画する「コミュニティスクール」の導入を図る。			
事業の概要			
平成18年に平山台小学校と統合された新校である平山小学校の重要施策の1つであるコミュニティ・スクール(学校運営協議会)を、平成20年10月から開始した。			
事業の成果・評価			
コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の導入により、授業や行事、教育環境の整備などにおいて、保護者や地域住民による様々な学校支援が促進された。 また、人事や予算等に関し学校運営協議会から教育委員会に意見が寄せられるなど、学校経営を支援する役割を果たしている。			
今後の課題			
東光寺小学校で導入に向けた検討・準備がすすめられており、平成22年度中の導入を目指していく。			

事業の名称	特色ある教育課程(カリキュラム)の研究・普及		
基本方針	「開かれた学校づくり」と「特色ある学校づくり」の推進	事業経費	23,860千円 内都支出金等965千円
担当課	学校課		
事業の目的			
小中学校において特色ある学校づくりに取り組む学校を支援し、各学校の教育内容の充実を図るとともに、「選べる学校制度」のもとに、開かれた学校、見える学校づくりを推進する。			
事業の概要			
各小・中学校の教科研究活動や農業体験、部活動等教育活動を支援し特色ある学校づくりを推進する。校内研究への補助金や、社会人講師・外国人英語指導補助員の配置等を行う。			
事業の成果・評価			
国等の補助をうけて、「英語活動等国際理解活動推進事業」を滝合小学校で、「我が国の伝統文化を尊重する教育に関する実践モデル事業」を東光寺小学校で実施し、特色ある学校づくりの推進が図れた。 英語活動等国際理解活動推進事業：日野市の英語活動を充実させるため、滝合小学校をモデル校として調査・研究を行い、その成果を市内全校に還元させる取り組みを行った。 我が国の伝統文化を尊重する教育に関する実践モデル事業：東光寺小学校を実践モデル校とし、地域の伝統や文化を大切にし尊重する子どもたちの育成を目指して、豊かに表現する力を育てる指導法の工夫や改善について調査・研究を行った。			
今後の課題			
地域や学校の特性を活かした特色ある学校づくりについて、ホームページや教育広報などを活用し、成果を市民に周知する。			

事業の名称	市政協力員(学校図書館)の配置		
基本方針	「開かれた学校づくり」と「特色ある学校づくり」の推進	事業経費	16,092千円
担当課	学校課		
事業の目的			
学校図書館の運営に当り、開かれた図書館づくりを目指し、地域・保護者・ボランティア等の協力を得て学校図書館機能の充実を図る。			
事業の概要			
学校図書館の教育環境整備のため学校図書館に協力員を配置し、図書の整理整頓・貸出返却等の事務を行う。			
事業の成果・評価			
全小・中学校に、1日5時間、年間200日、市政協力員を配置した。児童・生徒が、休み時間や放課後など、利用したいと思ったときに学校図書館を利用することができる環境が整い、学校図書館活動の充実が図られた。			
今後の課題			
学校図書館活動の維持・充実を図るため、引続き市政協力員の確保が必要である。			

事業の名称	七生緑小学校増築事業、校舎・屋内運動場大規模改造・耐震補強事業		
基本方針	「開かれた学校づくり」と「特色ある学校づくり」の推進	事業経費	【増築】267,343千円（内国庫支出金45,480千円）、
担当課	庶務課		【大規模・耐震】671,667千円（内国庫支出金180,236千円、都支出金7,539千円）
事業の目的			
旧百草台・旧三沢台小学校の統合に伴い、統合規模に合わせた教室数を確保するため、増築する。また、校舎・屋内運動場が老朽化しているため、大規模の改修及び耐震補強工事を実施し教育環境を整える。			
事業の概要			
【七生緑小学校増築工事】 構造：鉄筋コンクリート造 規模：地上2階建て 述べ床面積： 1,107㎡ 普通教室 7室 コンピュータ教室 1室 図書室 1室 他の教室 2室 昇降機設備、電気設備、機械設備 【校舎】 構造：鉄筋コンクリート造 規模：地上4階建て 述べ床面積： 4,689㎡ 耐震補強事業：鉄骨ブレース補強 11箇所ほか 大規模改修事業： 建築工事（屋上防水、外壁塗装、内部の天井・壁・床の改修） 電気設備、機械設備（全面改修） 【屋内運動場】 構造：鉄骨造 規模：地上2階建て 述べ床面積： 1,066㎡ 耐震補強事業：壁面鉄骨ブレース補強 10箇所ほか 大規模改修事業： 建築工事（屋上防水、外壁塗装、内部の天井・壁・床の改修） 電気設備、機械設備（全面改修）			
事業の成果・評価			
小学校の適正規模・適正配置を図るため、百草台小学校と三沢台小学校を統合し、新校 七生緑小学校が開校できた。 開校に当たり旧三沢小学校を統合規模に合わせた普通教室、新しい指導要領により必要とされる特別教室等を確保するため増築し、新たな教育環境の場が確保された。			
今後の課題			
完成により平成21年度からの新校舎使用が可能となった。 七生緑小学校の増築工事、大規模改修工事、耐震補強工事事業は完了した。			

事業の名称	日野第一中学校校舎改築事業		
基本方針		事業経費	1,148,086千円 内国庫支出金272,861千円
担当課	庶務課		
事業の目的			
既存校舎の耐力度調査をした結果、危険建物と判断され、校舎とプールを全面改築し教育環境を整える。			
事業の概要			
【校舎改築工事】 構造:鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 規模:地上3階建て 述べ床面積: 7,892㎡ 普通教室 15+3(18)室 まで対応可能 特別教室教室 12室 音楽室(2室)ほか10室 管理諸室 校長室・職員室・保健室等 屋上に屋外の25mプール・給食室・食堂等 昇降機設備、電気設備、機械設備 【長屋門ほか設置工事】 構造:鉄筋コンクリート造 規模:平屋建て 述べ床面積: 44㎡ 学校管理員室・屋外使用のトイレ・倉庫			
事業の成果・評価			
校舎・プール等の改築により、安全で指導しやすい教育環境が整備される。また、市民や教職員によって組織された「日野第一中学校改築市民委員会」の意見の反映並びに日野宿再生事業を視野に入れ、校舎の外観や現代風長屋門及び外構工事を行い、地域に溶け込んだランドマークとなる。なお、災害時の安全な避難場所として確保される。			
今後の課題			
教育内容・教育方法の変化に対応できる部屋の確保や、高機能かつ多機能な学習環境を確保したことから、どのような活用方法が有効なのかが課題である			

事業の名称	児童・生徒用机椅子整備事業(平成25年度まで)		
基本方針	「開かれた学校づくり」と「特色ある学校づくり」の推進	事業経費	26,617千円
担当課	庶務課		
事業の目的			
新JIS規格の机・椅子を全小学校、全中学校に整備計画どおり整備する。			
事業の概要			
子どもの成長に合わせて高さを調整できる、新JIS規格の机・椅子を計画的に購入する。従来の固定式の机・椅子から、可動式に替えることにより、大量消費、大量廃棄の整備をやめ、児童一人ひとりに高さ調整ができる机・椅子を各1セットずつ用意し、身長伸び具合に合わせて調整しながら大切に、同じ机・椅子を6年間使用し、物を大切にする教育を実践する。			
事業の成果・評価			
平成17年度から整備計画に則って購入し、平成20年度には、市内全小学校の1年生から4年生までの机・椅子を整備することができた。このことにより子どもたちが、同じ机・椅子を6年間使用することから、机・椅子を大切に、長くきれいに使用することが、子どもたち自ら実践できる。			
今後の課題			
小学校があと2年、中学校があと3年の計画があり、完了が平成25年度になる。予算の確保に努める。			

事業の名称	校庭芝生化事業(東光寺小)		
基本方針	「開かれた学校づくり」と「特色ある学校づくり」の推進	事業経費	44,006千円 内都支出金42,957千円
担当課	庶務課		
事業の目的			
緑化対策、ヒートアイランド対策、環境学習効果、や、地域コミュニティ形成などに効果があることから、東光寺小学校の校庭を芝生化とするもの。			
事業の概要			
東京都の推進事業「学校の校庭芝生化」に基づき東光寺小学校に実施した事業。 工事概要 改良野芝(エルトロ)2,142㎡ ダスト舗装2,321㎡ 散水設備2基 暗渠排水設備238m グランドマーク設置50個			
事業の成果・評価			
児童が校庭に出て芝生の上で過ごす時間が増え、体力の向上が期待されると共に、芝生に集まる昆虫や鳥に目を向けたり、サッカー等のスポーツも活発となった。 維持管理について、学校関係者・保護者・校庭開放の使用団体・校友会・等のボランティアで行い、学校と地域連携のさらなる足がかりとなった。			
今後の課題			
維持管理に継続的な費用と労力が必要とされる。			

事業の名称	小学校水飲栓直結給水事業(安全でおいしい水プロジェクト)		
基本方針	「開かれた学校づくり」と「特色ある学校づくり」の推進	事業経費	128,135千円 内都支出金80,275千円
担当課	庶務課		
事業の目的			
東京都のモデル事業「公立小学校の水飲栓直結給水化事業」に基づき、給水本管から水を飲む蛇口へ直接給水し、安全で冷たくおいしい水を供給する。			
事業の概要			
東京都のモデル事業「公立小学校の水飲栓直結給水化事業」に基づき、受水槽を使用しないで給水本管から水を飲む蛇口へ直接給水する方式に変更する。 (改修校) 1)日野第二小学校 2)日野第三小学校 3)南平小学校 4)滝合小学校 5)旭が丘小学校 6)東光寺小学校			
事業の成果・評価			
受水槽を使用しないで給水本管から直接給水する方式に変更することにより、子どもたちに安全で、冷たいおいしい水を供給することができるようになった。 また、給水管の改修により、管の老朽化による赤水や、漏水も無くなった。			
今後の課題			
東京都のモデル事業「公立小学校の水飲栓直結給水化事業」は、小学校が対象で中学校が対象でないため、今後東京都に中学校も対象となるよう要望していく。			

事業の名称	教育センターの研究・情報収集発信事業		
基本方針	「開かれた学校づくり」と「特色ある学校づくり」の推進	事業経費	1,060千円
担当課	教育センター		
事業の目的			
教育環境の急激な変化によって、新たな教育課題への対応が求められているが、教育センターは、それらの課題解決のための施策に生かし得るシンクタンクとしての機能を担うため、調査・研究とその普及活動に努める。			
事業の概要			
教育センターでは、昨今の教育課題の中から「教職員研修の在り方に関する研究」、「ICTを活用した実践的な研究」、「理科教育推進研究」、「郷土教育推進研究」、「ひのっ子教育21開発委員会研究」の5つテーマを取り上げ、それぞれの係に分かれて調査研究を行った。 調査研究は、学識経験者を招き、学校長、副校長、教諭、指導主事、教育委員会職員等により実施し、その研究成果を報告会において発表した。			
事業の成果・評価			
各部とも、活発に活動を行え、その成果を研究発表会にて報告できた。特にICT活用研究委員会は、信州大学 東原教授のご助言をいただきながら、ICT活用実践部会、環境整備部会、教員研修部会に分かれて活動し、教材開発及び活用、日野市のICTマーク(授業活用・校務活用・情報セキュリティについて一定水準が達成した学校に認証するしくみ)の導入、教員のICT研修の充実等が図られた。 また、理科教育推進研究委員会では、科学技術振興機構理科教育支援センター(JST)の協力により同機構が所有するデジタルコンテンツ等の教材を日野市に提供いただき、理科教育をより魅力ある授業にしていくことの実践研究ができた。			
今後の課題			
教育センターは開設されて丸5年が経過し、調査研究部の活動も単年度のための研究ではなく、複数年に渡って同一テーマの研究を重ねることができ、研究内容が深まっている。 今後もより一層、調査研究活動に励み、日野市の教育のシンクタンクとしての機能を果たしていく必要がある。			

事業の名称	「日野市子ども安全対策サポート・チーム」		
基本方針	「開かれた学校づくり」と「特色ある学校づくり」の推進	事業経費	9314千円 内都支出金3,869千円
担当課	学校課		
事業の目的			
地域の子どもの安全確保を目的とし、学校・保護者・地域（自治会等）・教育委員会・各関係機関が、 ①子どもの安全指導 ②安全パトロールの実施 ③防犯マニュアルの整備 ④危険箇所マップの整備等を行う。			
事業の概要			
学校・保護者・地域・教育委員会などの関係機関・団体が一体となって、通学路及び地域における子供の安全確保を図る。			
事業の成果・評価			
シルバー人材センターに委託し、小学校区ごとに週3回、下校時の2時間パトロールを実施した。 市民が地域の安全確保に関心を持ち、防犯意識の向上につながっている。			
今後の課題			
保護者や地域が主体となる協働体制が十分に整っていない学校もあり、事業を継続していく必要がある。今後、ボランティアの方々との活動の整合性を図っていく。			

事業の名称	スクールガードリーダーの導入とスクールガードボランティア事業の充実 (子どもの安全安心対策事業)		
基本方針	「開かれた学校づくり」と「特色ある学校づくり」の推進	事業経費	小学校費23,319千円 (内320千円は都支出金) 中学校費11,500千円
担当課	庶務課		
事業の目的			
子どもの安全について、①学校への不審者の侵入防止策、②不審者侵入時の対策、③登下校時の地域による子どもの見守り、④携帯電話等への不審者情報等の発信等に分けて、それぞれの安全が確保されるように対策を講じる。学校、保護者、地域等が連携した子どもの安全確保を目指す。			
事業の概要			
学校や子どもへの安全対策として、校内への不審者の侵入防止、校内侵入後の対策、登下校時や放課後の地域での安全確保、不審者情報の迅速なメール配信により、大人の目が子どもの安全確保に向くようにし、次の被害を防ぐといった事に取り組んでいる。 学校への侵入対策、安全安心のキーマンとして、防犯カメラの隙間を埋めるために学校管理員を配置した。登下校時や放課後は地域のボランティアに協力により実施している。不審者情報は委託契約により実施している。			
事業の成果・評価			
小学校全校に学校管理員を配置することができた。 また、登下校時や放課後の地域による子どもの見守り充実のため、講習会を開催した。基礎編で96名、上級編で121名の参加者があった。参加者へのアンケート結果によると、講義への満足度に関して、基礎編で87%、上級編では90%の評価を得られた。講習会をきっかけとして、新規のスクールガードボランティア登録者も増え、3月19日現在では、登録者が999名となった。 メール配信事業については、9月に不審電話により市内小・中学校全校で集団下校等の緊急措置がとられた事件が発生した。その際にメール配信を活用することで、正確な情報を瞬時に発信できることが証明された。			
今後の課題			
登下校時の見守りを行ってくれるスクールガードボランティア、自治会、老人会等のパトロール等を引続き行っていただくよう、協力要請が必要である。 また、それらを行ってくださる方々が継続してご協力くださるような仕組みが必要。地域の事を一番把握しているボランティアが協力してくれている中、有償のスクールガードリーダーの配置は非常に難しい。適任者の推薦について、日野警察にお願いしたが、今回は元警察官の警友会も含めて、紹介していただくことができなかった。人材の確保が課題である。			